

平成27年度公募開始について

SATREPS (Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development) は独立行政法人科学技術振興機構 (JST) と国際協力機構 (JICA) が連携し、科学技術の競争的研究資金と政府開発援助 (ODA) を組み合わせることにより、開発途上国のニーズに基づき、地球規模課題の解決と、将来的な社会実装に向けた国際共同研究を推進します。

公募期間：平成26年9月11日～10月27日正午（日本時間）

※1

対象分野※2,3：環境・エネルギー／生物資源／防災

研究期間：3～5年

予算規模：1課題あたり1億円程度／年

【内訳】JST: 3,600万円程度 JICA: 6,000万円上限

公募要領や公募説明会など詳細事項は随時ホームページに掲載します：

<http://www.jst.go.jp/global/koubo.html>

※1) 本プログラムは政府開発援助 (ODA) との連携事業であり、相手国研究機関から相手国のODA担当省庁を通じ、日本政府に対する技術協力要請が行われる必要があります。ODA要請書の外務省到達締切は、上記公募締切と同じく10月27日となります。

※2) 対象分野、予算規模などは現状の予定であり、予算の状況等を踏まえて変更される可能性がありますので、予めご了承願います。

※3) 「感染症」分野の平成27年度公募については、平成27年度より独立行政法人日本医療研究開発機構が設立されることを踏まえ、現在、体制が検討されているところです。詳細については、決定次第上記ホームページにてご案内いたします。ただし、相手国から日本政府に提出されるODA要請書の受付は、感染症分野も他の分野と同じく10月27日までとなりますので、ご注意ください。



成果の社会実装を目指した提案を多数お待ちしております！

特に、これまで採択課題のない国、実施課題の少ない国を共同研究相手国とする提案や開発途上国の都市化の問題に対応する提案を期待しています。

(裏面もご参照ください。)

お問い合わせ先

JST 国際科学技術部 地球規模課題協力グループ 担当：堀内、井上

E-mail: global@jst.go.jp Tel: 03-5214-8085

今回の公募にあたり（主な変更点・留意点）

<前回の公募からの主な変更点>

- ◆「感染症」分野の平成27年度公募については、平成27年度より独立行政法人日本医療研究開発機構が設立されることを踏まえ、現在、体制が検討されているところです。詳細については、決定次第SATREPSのホームページにてご案内いたします。ただし、相手国から日本政府に提出されるODA要請書の受付は、感染症分野も他の分野と同じく10月27日までとなりますので、ご留意ください。
- ◆前回のリストからエジプト、ギニアビサウ、マダガスカル、マリを対象に追加する一方、リビアを対象から削除しました。
- ◆研究提案書類（ODA要請書の方ではありません。）は原則として日本語で作成するものとなりますが、難しい場合は英語でも作成・応募できるようにしました。
- ◆応募後1ヶ月以内に、研究倫理に関する誓約書または受講修了書の提出を必須とすることとしました。

<主な留意点>

- ◆外交政策及び科学技術政策の観点から、共同研究相手国の適切な地域バランス（採択案件が同一地域に過度に集中しないこと等）及び研究課題のバランス（特定の研究に過度に集中しないこと等）を考慮します。
- ◆これまで採択課題のない国や採択課題の少ない国を共同相手国とする提案を歓迎します。
- ◆近年、開発途上国において都市化に伴う様々な問題が顕在化・深刻化していることを踏まえ、関係分野・領域において都市化の問題への対応を視野に入れた提案も歓迎します。
- ◆成果の担い手となる企業等と連携（産学官連携）をした提案を歓迎します。
- ◆地球規模課題対応というプログラムの性質に鑑み、複数国を相手国とする共同研究の提案も歓迎します。
- ◆アフリカ地域の提案を歓迎します。なお、当該地域については人材育成、現地調査の実施と分析、そして適正技術や問題即応技術の開発と適用が重要であり、その観点を含む取組を歓迎します。
- ◆若手研究人材育成の重要性に鑑み、「研究代表者が45歳未満の若手研究者」又は「日本側研究チームの半数以上が35歳以下の若手研究者」を中心とした体制で構成される課題の積極的な提案を奨励します。

※これらは主なものだけで、他にもあります。詳しくはホームページ、公募要領をご覧ください。 <http://www.jst.go.jp/global/koubo.html>

